

香美町香住区就学前施設再編のあり方（案）に係る住民説明会 会議録

日 時：令和7年9月1日（月）19：30～20：30

場 所：香美町役場本庁舎3階 大会議室

参加者：22名

出席者：町長、教育長

私立みなと保育園 園長

私立青葉保育園 園長

事務局 6名

1. 開会

2. あいさつ

香美町長

香美町教育長

3. 職員・園長紹介

4. 説明

(1)香住区就学前施設再編のあり方（案）について

（事務局 別資料について説明）

5. 質疑応答

（参加者）今の説明の中で公立と私立の香美町独自のカリキュラムを策定して、同じような保育を行うっていうことなんですけど、今までだったら私立保育園ではお寺の「のの様を拝む」とか発表会が「お釈迦様のお悟りの日」だったりしていた。その辺も公立と私立で同じような感じになっていくのでしょうか。今までだったらそれぞれの園で特色があったと思うんですけども、その辺はどのようになるのでしょうか。

(事務局) このスタンダードカリキュラムの根本は、幼稚園の教育要領であるとか、保育園の保育指針といった国が定めたものをベースに作ってまいります。公立もそうですし、各私立の園のそうした特徴のある教育・保育の部分について、否定するものではありません。ただ、柱は国が定めているものを基にスタンダードカリキュラムを作っていきますので、目指す子どもの育て方、育ってもらう子どもの姿は一緒であるという、ただ、これまでやってこられた仏教的な要素も活用しながら私立保育園では、子どもの心を育んでいかれるということで、そこを全く否定するということではありません。とにかく共通の柱を持っていこうというものです。あと認定こども園化ですのでももちろん、保育機能だけではなく、幼児教育の面もしっかりやっていくということになります。今後の仏教的な要素につきましては、私立の先生方が今後の認定こども園化でどのようにされるかというのは、こちらではお答えできないので、各園の園長さんにお答えいただいた方がよいかと思います。

(みなと保育園長) 基本的には、うちの保育園は既に 75 年ぐらいの歴史がある保育園で、ずっと継続的に歴史を大事に守ってきた保育園なので、そういうものを急になくすとかそういうことは考えておりません。ただ、今、教育委員会の副課長がおっしゃったように、香美町としての基本的なベースは作っていくので、それはこちらで受け入れさせていただいて、それに合うような保育・幼児教育を実践させていただこうと思っています。これまで長年培ってきた大事な部分は、これからも大事にしていきたい。一番肝心なことは、この香美町香住に生まれた子どもさんたちが、少しでも質の高い環境を得ることが大事なわけですね。とかくこういう話になると、大人の話というか、自分たち、大人の考えることが中心になってしまうのですが、やっぱり一番大事なのは子どもがいかにより良い環境で喜びを持って成長するかということで、そこを中心に考えていかないと単に枠だけ決めても、いけないんじゃないかと思います。特に先ほども副課長もおっしゃったように、また、教育委員会の皆さん、町長さんも言われておりますように、極端な少子化が進んでいるので、いかにこの質を高めていくかということが非常に重要なことだと考えております。そこで、それぞれ 3 つの施設がその保育・教育を担っていくわけですが、やっぱり 3 園になっても、それぞれの施設が切磋琢磨して、より一層高いものを求めていくということが大事なのです。それを単に一律にしてしまうと、保育の質というのは下がってしまうので、やっぱりそこで切磋琢磨してより良い保育を自分らで学んで、実践するということがとても大事だと思います。それに対して、保護者の方が大切な自分の子どもさんをどこに預けるかということは、その保護者にとっては重要なことなので、今はそれをやっていますが、「子どもファースト」と言いますか、子どもを中心に物事を考えていくということが非常に重要だと考えております。

(青葉保育園園長) 青葉保育園も同じく、戦前から農繁託児所として、保育を始めておりま

す。また、真言宗高野山の保育連盟にも加盟しており、幼稚園や保育園を開いている同じ宗派のお寺さんが集まり、その中でいろいろ意見交換しながら進めておるわけですが、そういう中でも、そういった中で3園が一つのカリキュラムを作って、根本はそこを一つとしてそれぞれオリジナルの今までしてきた保育を追加して、進めていこうという思いがあります。話し合いの中で運動会なども合同でという話があったんですが、そういうのもやっぱり難しいかなとなり、それぞれの園でするのがいいのではないかという話が出たのですが、そのような形でそれぞれが根本の部分だけ持って、また特徴を生かした認定こども園化という形で進めていきたいと思っております。

(参加者) 私立の先生方にお聞きするのですが、私立のどちらも仏教保育をしておられて、別にそれに疑問を抱いたことはないのですが、よその友達とかにそれって例えばキリスト教とか他の宗教の人が私立の園に入りたいとなったときには、受け入れとかはどういうふうに考えておられるのかなってというのがあって、やっぱり普通に考えたら香住とか長井とか余部とかの人はどう考えても、私立園に行く方が近いので、例えば、そういう人で「仏教はちょっとなー。」「仏教行事とかには参加できないかもしれないな。」といった人が来られたりした場合は、受け入れはどうなるのか、何かそういうお考えがもしあるのでしたら、教えていただきたいと思います。

(みなと保育園園長) 基本的に仏教を中心としてお寺も兼ねてやっているんで、キリスト教の方だとか他の宗教の方だからといって、その子どもさんを拒否するということは全くありません。また、現実的に他の宗派宗教の方が入ってこられたことが結構ありますし、それで中には保護者の方でも強いこだわりがある場合もあるんですよ。そういうときは、その保護者だとかに参加されるかどうかを伺って、「この行事には参加しません。」って言われたら、「それは困る。」ということは言うておりません。現実的にはいろんな方がいて、いちいちどこの家は何教だというのは調べておりませんけども、簡単に言えば、隣は真言宗ですし、私は浄土宗ですが、真言宗の家の子だから受け入れないということはないし、私自体もお寺の横に神社が、神さんがあるんだけど、私自体も最近は行きませんが、神主さんのところのお祓いにいつも行っていましたし、日本っていうのはそういうことに関しては、文化に関しては寛容な国です、他の国と違って。特に今よく問題になっているイスラム教だとかキリスト教だとか一神教だと、こだわりが強いんだけど、元々は日本の土俗の宗教というのは「八百万」と言いまして、神さんはたくさんいるっていう考え方を持っているので、その点に関しては非常におおらかに考えております。こちらとしては他の宗教だから拒否することもないし、その保護者の方がもし、「このことに関しては、うちの子はちょっと参加を見送ります。」というときは、それはOKにしていま

すので、そのところはあまり問題ないのかなと思っております。あとは、その保護者様のどういうふうな選択によると思います。公立も一つあるので、それだったら公立へ行きましょうって考えたら、それでいいんじゃないかと思います。

(青葉保育園園長) 全く同じ意見です。うちらでもクリスマス会をしたり、ハロウィンなんかをしたり、他の宗派の方も受け入れて、行事をする時もありますし、やはりそういった意味では保護者の方に参加されるか、されないかを確認して進めていきたいと思っています。

(参加者) 私立さんの新しい保育園の場所とかは確定されているのですが、公立のこども園の場所がまだはっきりしていないんですけど、柴山保育所のあたりは、海があって、今の現実、地震とかっていうこともたくさんあって、何かあったときに、ちょっと危ない場所なのかなって私は個人的には考えたのですが、なぜその辺に公立のこども園の場所を考えたのかなっていうところをちょっと聞かせていただきたい。

(事務局) 検討委員会の中でも、津波の対策とか津波が近いので柴山保育所の位置はどうなんでしょうという声はありました。ただ、柴山地区に公立を持っていくという話になりましたのは、検討委員会の中で、「やはり公立の園が選択肢としてあるべきではないですか。」というお声があったのと、全ての認定こども園を香住地区に持っていくと、今まで柴山保育所を使っておられた柴山地区、佐津地区、そして奥佐津地区の皆さんからすると、例えば豊岡に勤めていると逆方向になるなどといった利用するにあたり送迎するのに便が悪いというご意見もありました。そういったことも踏まえまして公立を柴山地区へ配置するということになりました。香住エリアにつきましては、既にこの図にありますように、私立認定こども園は設置場所を決めておられます。そこを変えるということはもう土地を取得されていることもあり、なかなか現実的なものではないという話の中で、香住区の東側にお住まいの方のこれまで通りの利便性や私立・公立の選択肢があってほしいという議論の中で公立は柴山地区にということを決めさせていただきました。あと津波のことについては、海が近いということについては、今回はまだ公立の認定こども園を町がどこに設置するかということがお示しできないのですが、そうした海が近いこと、そして今の柴山保育所の活用の可能性、そして、閉校する柴山小学校などの公共施設の活用、または新築をするのかなど、あらゆる可能性を費用対効果も含め、町で案を検討しているところです。その点はまだ、お答えができないところです。

(事務局) 補足させていただきます。現在、柴山保育所が海に近いのは間違いありません。た

だ、今の場所が危険かと言われますと、場所的には危険という認識はございません。ただ、可能性としまして、高波が来たらどうするんだとかいったようなこともありますので、毎年、毎月ですね、避難訓練であるとか、そういった子どもをすぐ高台に、というふうなことで保育所でも取り組んだりをしておりますので、安全を確保した上で運営しております。今後どの場所にするかということは、総合的なことも含めまして、実際にどこに設置するのが一番有効なのかを含め、今後協議をしていきたいというふうに考えております。

(参加者) 今まで、再編のあり方(案)ということで、(案)について検討されていると思うのですが、これが本決定になるのはいつになるのですか。それに、その時には柴山の設置等についても決まっているということになるのですか。

(事務局) (案) となっていますが予定と考えていただいたら結構です。令和10年に公立につきましても開設しなければいけませんので、建設工事、改築工事が発生してまいります。それに間に合うように柴山地区に設置する公立のことも決めていかなければなりません。(案) となっていますが、検討委員会で検討して案を作りまして、この予定で進めていいよということで総合教育会議で承認をいただいているので、予定と考えていただいて結構です。

(参加者) 一応、決まったものということですね。それに決まったことについて、公立はまだわからないということだが、私立2園については、もう申請作業がなされていて、工事に着工するとかという流れができているということですか。

(事務局) 私立2園につきましては、土地を求められたということで、まだ手続き的なものは進んでいません。認定こども園にしましても県の認可が必要になってきます。その準備をすでに着手しておられるのかなと思いますけども、まだ認可がおりたわけではありません。施設整備につきましても、おそらく国の補助金をもらいながらされると思いますが、そういったこともまだ、具体的にどのような設計ができているのかということも聞いておりませんので、これから手続きをするということになります。

(参加者) 認可を受けるにあたって、あり方(案)ということで、決定したか決定していないのかわからないような状態で、認可に向けての手続きは進められるものなのか。

(事務局) 案と言いつつこれは計画です。(案) という言い方にこだわっておられますが、

これは町も承認した上での呼び方であります。

(町長) 柴山の場所がまだ確定していないから、全体のことを説明するのだから、私立認定こども園の場所は決まっている。柴山はまだどこにするかが確定していないから全体として（案）でないとお示しができないということ。

※この「香美町香住区就学前施設再編のあり方（案）」が現段階で町の方向性として決定した内容となっています。

(参加者) 統合がずっと小学校と中学校とかでかなり進んでいく中で、当初は保護者が「各学校の同級生が少なくなって、大人数の教育が受けられない。だったらもう、統合してもらって。」ということで、統合が進んでいっていると思う。その中で、香住区内に3つの認定こども園を設けて、それぞれ人数割りをされて、たぶん同学年でクラス分けをされると思う。そうなったときに、ふたを開けてみたら、少人数のクラスになってしまっている園ができているとなると、保護者が思っていた統合して大人数で教育・保育を受けられると思っていたのと違うなーと思ったりすることが出てきたりするのかなと思ったりもしたが、その辺はどうか。

(事務局) それにつきましては、先ほど申しましたように、公立を置く、認定こども園が3つになるということについて、検討委員会で出た意見も踏まえまして、令和10年の時期を目途に再編の計画を立てていきますけども、選択肢がある方がよいのではないかとということでまとまっています。その先5年、10年でさらに子どもの数が減ってきたならば、その時点でさらに検討が必要になってくると思います。

(参加者) これから入られる保護者の方が、3園の中でどこにしようかって考えるんですが、それは地域性が一番の選択肢に入るんだと思うんですけども、それぞれの教育方針なんかあまり関係ないと思うんです。当然、各認定園となったところが、幼稚園の指導要領だとか保育指針だとかに則ってやるのは当然のことだと思っている。そのうえで、わざわざスタンダードカリキュラムを作っているのがあまり意味があるのか。指針や要領に則ってしていれば、ある程度の水準、一定の水準を越えていると思う。それに上乘せしてスタンダードカリキュラムを作る意味合いが、町が目指す何か、3園に求める何かがあるのですかね。

(町長) 担当ではありませんから、はっきりお答えできませんけど、私立のお2人の園長先生方が今、運営していただいているのは保育園です。ですから、5歳児になると幼稚園教育の分野になってくるわけです。今まであった公立の幼稚園がなくなって、将来的には就学前の子どもたちが1本で一つの園でお世話になるという考え方をしますと、例えば、みなと保育園とか、青葉保育園とか、今までは保育園ですから、4歳児までしかなかった。実質的には今までの保育園も5歳児でも入れたんですよ。ただやっぱり、香住幼稚園があるがために、そっちを選択される保護者の方が多くて、5歳児はたまにはありましたですね。先生。個人的なご事情で。

(みなと保育園園長) はい。ただ、基本的に幼稚園があるので、保育園側としては、そのまま幼稚園にいく流れであって。

(町長) 今度は認定こども園化ですから、5歳児までが保育の部分と一つの認定こども園の中で、5歳児の幼児教育の分野とさせていただく。ですから、それに初めて挑戦されるわけですから、やっぱり柴山に予定しております公立の認定こども園と2つの青葉、みなとの認定こども園とが。先ほどもどなたかからありましたように、仏教を基本にというのは理念の話で、そこに教育色の分野にまで、宗旨も違うわけですから、真言宗と浄土宗のお寺が運営している。例えば、さっきもみなと保育園園長がおっしゃったように、一日市や若松の方の園児でも、真言宗の檀家の方がたくさんおられても、さっき青葉保育園園長からありましたように、キリスト教の方でも入れて、ただ、その園の根本の芯の中に仏教教育があるというだけで、キリスト教のことを排除するとかそういうことではありませんから。ただ、新しく認定こども園ということで取り組みをするわけですから、新しい分野に踏み出していただいていることと、今度は認定こども園化になるわけですから、そのレベルをいろいろな特色は生かすとしながら、同じレベルの保育であったり、幼児教育の分野をおしなべて、香住区内の3つの園は、同じようなレベルにまで引き上げるための役場からのサポートということで、こういうカリキュラムで、そういうことをお願いするということですので、別にこれがあることが必要ないってということでは私はないというふうに思います。初めて取り組んでいただくわけですから、そういう分野にも役場がサポートもしながらしていかなければいけないというふうに考えております。

(町長) 少子化の傾向が今年あたりがね、お母さん方もご存知かどうかわかりませんが、特に今年度まだ子どもがちっとも生まれてないんです。香住、村岡、小代を合わせて今まで20何人かぐらいだったんじゃないかな。去年も40人ちょっととか50人までですわ。旧3町合わせて。ですから、両先生も柴山の認定こども園も施設の規模、これをどういうふうに考えて、将来の見込みでいったら、子どもたちの見込みは我々の希望観測で言うと、

どんどんどんどんまた昔のように増えていっていただければあればなんですけど。仮に年に 40 人香美町に子どもが産まれるとしましょう。香住小学校 20 何人ですわ、1 学年。ですから何年か先からは香住小学校もずっと 1 クラスですわ。こんな状況だと。それも 1 クラスの 35 人学級がどうかというそこまでいかなような人数。我々の時代は違いましたでしょ。もうずっと皆様よりずっと上ですけど、香住小学校って言ったら、昔は但馬中で五荘小学校について 2 番目の学校だったんです。今でも五荘小学校は一番ですけどね。もう今、香住小学校は昔の大型校とかマンモス校とかと違って「普通の学校」、規模でいうと。普通の学校も何年か先には 1 クラスになってしまうような現状。これは本当に危機的な状況だとは思っております。いろいろ皆さんからありましたように、伊藤先生からもありましたように、やっぱり子どもを主体に考えるっていうふうな考え方で、これからの新しい認定こども園の拠点だとか、学校統合も考えていきませんと、もう現実の数字だけ見ていたら、非常に町は衰退するばかりですから。そういう思いで前田教育長とともに、今の就学前の子どもたちのあり方についても真剣に、ここ数年間ずっと町民の皆さん方や保護者の皆さん、小学校の PTA の方々との意見交換を踏まえて、これからもまだまだ問題はあろうかと思えます。両園長さん方も、施設の規模っていうのがね、将来的に見込みより大きく外れたような大きな施設は、それは当然運営費に影響するわけですから、そういうところも、役場もサポートしながら、先生方との意見交換も進めて本当に適正な規模なものを将来の多少の増減には対応できるような施設を、きちっとしたものを正確に作っていかないと、全てが大きな負担になるという考え方もありますので、これからも大きな問題ですけど、しっかりと教育委員会とともに取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いしたいと思います。

(みなと保育園園長) 今、町長が非常に重要なことをおっしゃったので、拍手をしたいくらいの気持ちですけど、これから非常に少子化になるわけで今、先ほども申しましたけれども、やっぱり子ども、いかに良い環境でこの香住の地で保育・教育を受けていくか。そして、その将来的にどういう人格に育つかが一番の問題なんで、そのためにどういうふうな施設でやっていくかは二の次の問題だと思います。そんなことでうちの保育園、こども園は最大限の施設にするように、職員一同でサポートして大事な子どもさんたちをお預かりできる施設にしたいなと、今願っておる次第なんで、どうぞよろしくお願いします。

(青葉保育園園長) 今回こうした説明会があって、今、我々も定員数がここで決まったところで、そういう施設を設計するのは急ピッチでさしてもらっております。その中で先ほど言われていたスタンダードカリキュラムの方も、まだこれからですけども、職員の方と話し合いを進めながら進めていくところです。それができたら、皆様の方にご報告できるかなと思いますので、その時にはこういうものを 3 園が一律でしていくんだなとい

うことがわかると思いますので、その時までお待ちいただけたらと思います。

6. 閉会